

## 様式第五十の二（第48条第6項関係）

### 認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

#### 1. 認定の日付

2022年1月28日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社富山環境整備

#### 3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：2022年1月 終了時期：2024年10月

#### 4. 認定事業適応計画の実施状況

##### （1）事業適応計画に係る事業の目標達成状況

本計画では、これまで埋立処理していた産業廃棄物（主に廃プラスチック、木くず、紙屑、金属などの混合廃棄物）を中間選別処理施設（以下、「高度選別センター」）で選別し、低発熱資源物（主に木、紙）と高発熱資源物（主に廃プラ）を取り出し、それらを一定の割合で混合して同一事業所内で稼働する焼却施設で助燃材として活用することで、重油使用量を削減することとしています。

この計画のうち、2022年度においては、高度選別センターを立ち上げ、一定量の資源物を取り出し、自社焼却施設で助燃材として活用することで、焼却施設の安定稼働を実現しました。その結果、焼却施設における重油使用量を56%削減することができました（計画時の目標値を上回る。）。また、固形燃料化施設においてもRPF製造を始めており、社会全体の脱炭素化に寄与しております。

##### （2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2021年度の炭素生産性の目標値は219.3030（-4.7%）に対し、実績は167.6520（-27.2%）でした。目標を達成できなかった理由として、特殊要因（①役員報酬の変更②特別償却の実施③当初計画にない新規事業に伴う二酸化炭素排出量の増加）が挙げられます。それらを考慮した実質の炭素生産性は208.4330、基準年度比の炭素生産性向上割合は-0.9%です。

##### （3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2021年度における有利子負債／キャッシュフロー倍率は▲3.0倍と10倍を下回っています。また、経常収入／経常収支は141.4となりました。

##### （4）実施した事業適応計画の内容及び適用を受けた支援措置の内容

2022年度においては、全額自己資金（2,557,933千円）により、事業適応計画の認定申請書別表2-3(2)に記載した資産を全て取得しました。取得資産は予定通り事業供用し、中間選別処理およびRPF燃料の製造を実施しています。

また、投資した資産の 2022 年度中に事業供用した資産のうち、2,322,921 千円について CN 投資促進税制の適用（特別償却 50%）を受けました（取得した機械設備の一部（235,012 千円）については CN 税制を適用せず。）。